

ジェンダー考古学と 卑弥呼

生物学的な性差である「男」と「女」。それに対して、社会的・文化的な意味合いの性差を示す「ジェンダー」という概念は、近年、考古学を含めた歴史学においても注目されるテーマのひとつです。

『魏志倭人伝』には、弥生時代の「女王」・卑弥呼が祭祀的な役割を担い、その弟「男弟」が政治を助け、男女ペアで統治を行っていた様子が書かれています。弥生時代における「ジェンダー」の一例と考えていいのかもしれませんが。

そこで、今年度の弥生フェスティバル連続講演会は「ジェンダー考古学」を共通テーマとし、考古資料からみる古代における男女の役割の変化などについて、4人の専門家が迫ります。

第4回

3月29日(水)

「后妃が王位継承に果たした役割」

白石太一郎氏
〔大阪府立近つ飛鳥博物館館長〕

―継体・欽明朝前後を中心に―

第3回

3月28日(火)

「卑弥呼と飛鳥の女帝」

黒崎直
〔当館館長〕

第2回

3月24日(金)

「卑弥呼的な女性首長―その後―」

寺沢知子氏
〔神戸女子大学文学部教授〕

第1回

3月23日(木)

「性・交合の考古学」

―ハイヤらしいVという現代感覚は
階級社会になってから―

秋山浩三
〔当館副館長兼学芸課長〕

ACCESS



JR阪和線 信太山 駅下車西へ約 600m
南海本線 松ノ浜 駅下車東へ約 1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おどり)駅で普通電車にお乗換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。
鳳から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。



国道26号「池上町」交差点南西角
P普通車72台(無料)

卑弥呼と出会う博物館

大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町 4-8-27

TEL.0725-46-2162

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



時間 / 各回とも午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
(午後 1 時 30 分から受付)

定員 / 170 名 (当日先着順・開館時より整理券配付)

聴講料 / 無料 (ただし、要入館料・資料集代)

開館時間 / 午前 9 時 30 分～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)

入館料 / 一般 300 円、高大生・65 歳以上 200 円

※中学生以下は無料、
障がい者手帳をお持ちの方とその介助者は無料
20 名様以上の団体は 2 割引

共通資料集は 500 円で販売いたします